

へっぽこジャーナリズムで大胆予測!

2002年、 コレが消える!!

大学は 大変!

大学もヤバイ。少子化で大学の競争が厳しくなり、遊んで卒業できる大学や女子大は淘汰される。

レジャーランド的な大学は社会的評価が低くなり、どんどんつぶれる。そこで大学は生き残りを賭けて学生にしっかり勉強させて卒業生の質を高めようとする。もはや、遊んでいても卒業できる時代じゃありません。また、女子大でも良妻賢母型の女子大、特に短大から4年制に成り上がったタイプの女子大は就職に不利で学生が集まらず、やはり消えていくでしょう。(橋爪大三郎東工大教授)

2002-6-①

乱暴からオチンチンの話まで そうだったのか!?の男の子

「男の子って、どうしてこうなの?」(草思社・硬版き1000円)

今年の3月1日の発売以来、25万部を突破した驚きの育児書があるのだ。

男の子って、 どうして こうなの?

著者 スティーヴ・ビダル
訳者 藤田 浩一
定価 450円

母親にはわからない
事情がある!

男の子の心と行動の秘密を、
著者は数々の国で調査
を行い本書を記した。



著者 スティーヴ・ビダル
氏は中国、オーストラ
リアなど複数の国で調査
を行い本書を記した。

それにしてもなぜ子供を育てるのにここまで不安になるお母さんが多いのか。

「親側の家族構成の変化と少子化が背景にあると思います。一人っ子だったり、女ばかりの姉妹で男の子を全く知らずに育った人が母親になるから不安になる。」

また、生活が安定して危機がないため、男の子はやんちゃというだけで、最大の危機になっ
てしまっているんです」(東京工業大学教授・社会学・橋爪大三郎さん)

「男の子を持つ親は、自分の子供がよい子に育ってほしいなら、責めるだけではなく、よく理解してあげる努力を続けることが大切だ」とビダル氏はまとめている。

20年来、家族の問題を扱い、オーストラリアだけでなく、ニュージーランド、アメリカ、シンガポール、ドイツ、イギリス、中国など各国で調査を行い、その中でも、特に子供の抱える問題に取り組んできた著者は、男の子のホルモンの働きに注目した。

男の子は、母親の胎内にいるときからテストステロンという男性ホルモンが作られているがこの育児書は、そのテストステロンの働きによって、男の子の成長を3段階に分け、独特の視点で分析、解説している。

追悼 ジョージ・ハリスンに学ぶ ナンバー3の生き方

いま、男の生き方がむずかしい。仕事場での自分のポジション、友人や恋人など複雑な人間関係のスタンス……アイデンティティが問われる日々だ。どう生きる？ そのヒントは、死してなお光彩を放つジョージ・ハリスンにある。

取材・文：神田由紀子 イラスト：木暮実千代 Shinko Music Archives



寡黙な「ビートル」になった日

不況の時代ものびのびと働く ポジションが「ナンバー3」

あなたはジョージ派？ それともポール派？ そうたずねるのが、ずっとビートルズファン同士のあいさつ代わりだった。

1970年に解散したビートルズのメンバーは4人。ジョージ・ハリスン、ポール・マッカートニー、ジョン・レノン、リンゴ・スター。しかし、圧倒的カリスマのジョンとポールに人気は二分されてきたからだ。

派」を見かけるようになった。グループでは「上2人」と「下2人」の区別が明確に分かれ、3番目がジョージで4番目がリンゴ。ビートルズの前身は、ジョンが結成したクオリーメンというグループ。だから当然ポールはジョージに比べて、存在感が薄かった。ジョージは高校に通学するバスの中で1学年上のポールに誘われた。そのポールと同じ学校の先輩後輩の関係は昨年11月29日にがんでこの世を去るまで続いたといっているかもしれない。リンゴは年齢こそ一番上だがデビューが決まっていたから参加したのが4番目扱い。

「ビートルズの4人では、僕はジョージが、一番好きだよ」

とは、結成25年で、日本最古のロックバンド、ムーヴ・ライダー



橋爪大三郎
はじつめ、たいざう
東京工業大学教授。近著
は「強いサラリーマン」
へたはる企業家

ズのリリーダ、鈴木慶一さん。
「もちろんジョージやポールも好きですよ。音楽的にずば抜けているからね。でも、いいなあ」と感じるのはいまだジョージ。ほかにミュージシャンでは高橋幸宏君も（鈴木）茂君も、確かジョージが好きだったはず。バンドの中のあの位置にあがれるんだと思う。グループにはね、ああいう人がいないと困るんだよ」

上さねねらなければ
快適なナンバー3
ナンバー3のジョージは「寡黙なビートル」と言われたことが多かった。それは、東京工業大学教授の橋爪大三郎さんだ。

「トッパはリスクを負ってつらいことが多い。ちよつと失敗したただけでばかにされたり軽蔑される。下にいる人間は、本当はすれはうが能力が上、と思ふことで心理的に安定するから。それならトッパは失敗しなければ幸せかといふこと、そうでもない。独断的にいうことを警戒される。どうしたって快適には過せません」

2番目だって同じですよ。いつか番が回って、自分に順番がまわってくるか分からないから、リーダーのタイプではないのに繰り上がりで組織や部門の長をやらされ、向かない役割を担って心の病になる。管理職のうつ病は、昇進の直後に発症するらしいですからね。そう考えると、永遠のナンバー3なら幸せですよ」（橋爪さん）

不況の中にある今の日本で、ジョージ・ハリスンは、一つの賢い生き方の見本なのかもしれない。

「確かにジョージは、グループのトッパではないことの幸せを感じさせてくれる人ですよ」

ミュージシャンで作家のサエキケンぞうさん



ジョージ・ハリスン「第3の男史」

- 1943年 2/24 イギリスのリバプールに4姉弟の三男として生まれる
- 1958年 3/13 前年、通学のバスでポールに出会った。そしてこの日初めて、ビートルズの前身クオリーメンに参加。ジョージは3人目のビートル
- 1962年 10/5 EP「ラヴ・ミー・トゥー」でデビュー。第3の男史本格的開始
- 1966年 9/14 音楽家ラヴィ・シャンカールと出会い、インド音楽に深く興味を持つ。ジョージやポールとは異なる音楽的なアプローチがスタート
- 1970年 11/27 ビートルズが解散後、ソロ「オール・シングス・マスト・パス」発売。抑圧されてきたものが爆発？
- 1971年 8/1 NYのMSGで「パンクランド」を開催。この日の夜は男の夢にB・ティラーン、E・クラブトン、L・ラッセルなどの大物が参加する
- 1974年 11/18 アルバム「ダーク・ホース」発売。タイトルが示す通り、自分が王様ではないことを明確に

※2001年11月29日米ロサンゼルスにて死去

ポール

ポールはジョージを「弟」と呼んでいた。かたがひついてもいる

ジョージ

互いに正反対と認識。ジョージのインドに最も影響を受けたのがジョージ

リンゴ

解散してもよく一緒に演奏していたと思われ、リンゴが大人気なわけ

ジョン

解散してもよく一緒に演奏していたと思われ、リンゴが大人気なわけ

メンバー相関図

たことを打ち明けている。そのほかにもグループ内の空気が緊迫した時、ジョージのジョークで一瞬にしてその空気がほぐれたエピソードには事欠かない。

ジョージ的な人がいないと組織は続かない。そう言ってもいいほど重要なポジションなのだ。圧倒的存在感があるわけでもない。ほかのメンバーと比較して、特別に「生産性」が高いわけでもない。

「ヘルプ」「レット・イット・ビー」「愛こそがすべて」「イエスタデイ」……ビートルズナンバー1で世代や国境を超えて歌われる名曲は、ほとんどがジョージとポール・マッカートニーの作品。

アルバムを買うと、そのすき間を埋めるように「ホワイイル・マイ・ギター」「ジェントリ・ウィー」「バック・トゥ・ザ・フューチャー」……ジョージの作品がはさまる。これらは学校の教科書には載らない。しかし、ロックの名曲である



サエキケンぞう
ミュージシャン、作曲家、3月21日池袋「LIVE INN ROSA」でサエキケンぞうショーを行う

実際、ジョージのユーモアのセンスはよくグループを救った。62年に、ビートルズがEMIとレコード契約したときのこと。それまではオーディションに落ち続けた。演奏が終わってアドバイスをするEMI側のジョージ・マティンに対し、緊張していたのか、プライドがそうさせたのか、



鈴木慶一
ミュージシャン、俳優、1970年代「ムーヴ・ライダー」で活動

「何か気に入らないのか？」いぶかしがるマティンに、「ええ、あなたのネクタイが気に入らないね」ジョージが答えたことで空気がなごみ、契約が決まった。後年マティンは、当時のビートルズの作品や演奏ではなく個性にほれ

キャラクター比較



Hungry for Straight Talk

カリスマを望む 不確かな空気

有権者 石原の支持者は右寄りの保守層だけではない
小泉政権に対する失望と将来への危機感が
「強い指導者」を待ち望むムードを拡大させている



改革への道 石原は都知事就任後、外形標準課税など新たな施策を次々と打ち出した(1999年、東京都知事として初登壇)

共同通信社

東京に住む小林知子(30)は、典型的な現代女性だ。いずれ子供をもちたいと思っているが、今は夫と2人暮らし。会社帰りに飲みに行ったり、週末にカラオケに出かけたりもする。

同年代の日本の女性と違うところがあるとすれば、政治への関心が高く、東京都の石原慎太郎知事を支持している点かもしれない。ただしそれも、最近の日本では珍しいことでもなく、むしろある。

「働く女性のために託児所を増やすとか、石原さんは現実的に起きている問題を解決しようとしてくれる」と、小林は言う。「考えが見えない政治家が多いなかで、国民にわかる言葉で伝えようとするところに好感がもてる」

石原の支持者といえば、かつては彼の保守的な主張に共鳴する中年以上の世代が大半だった。だが出口の見えない不況が続き、政治家のスキャンダルが相次ぐなか、その人気はこれまでと異なる有権者層にも広がりはじめている。アジアの近隣諸国には、そうした変化を「ナショナリズムの台頭」ととらえる向きも少なくない。

「国民の間で失業への不安が高まり、政府への信頼も揺らいでいる状況では、石原のような人物に関心が集まりやすい」と、英ラフバラ大学の日本専門家イアン・ヘンリーは言う。「世界の人々にとっても気になる人物だ」

だろ。有事関連法案も、そのためのお膳立てのように映る」

国益重視の首相を待望

しかし、石原の人気をイデオロギー的な側面だけで定義するのはむずかしい。「左翼はアメリカにはつきりものを言う点で石原を支持し、右翼は中国にはつきりものを言う点で支持している」と、評論家の宮崎哲弥は言う。

日本人は政界の腐敗に辟易している、モントレー国際大学東アジア研究所の赤羽恒雄所長は言う。「こうした環境では、ナショナリストだけでなく社会全般の保守層に石原はアピールする」

保守系の月刊誌「正論」では5、6年前から、30代の女性や高校生、主婦など新たな層の読者が増えた。石原が対談などに登場した号の売り上げは悪くないという。

「石原さんは、崇高な話をしながら身近な問題を取り上げる。いつも作業服だし、それだけの心構えがあると都民に伝わるのだから」と、大島信三編集長は言う。

5月、石原の公認サイトを開設した小林元喜(23)は、高校生のときに石原の議員辞職表明演説を聞いて「この人はすごい」と思った。「石原さんの本は、生とか死がテーマとしてよく出てくる。そういうもののとらえ方や『自分は自分でしかない』という考え方に魅力を感じた」と、小林は言う。

石原の手腕を評価し、期待しているのは東京の有権者だけではない。「5年前はほとんど日本が地に落ちた感じはなかったから、誰が首相でも大丈夫だろうと思っていた」と、千葉県に住む学習塾講師の武村浩靖(30)は言う。「でも国債の格付けが落とされたりしている今は、国益を重視する強いリーダーに首相になってほしい」

ただ、そうした強さに逆に不安を感じる人もいる。「面白い人だけど、政治家として欠けている部分があると思う」と兵庫県の大学生、岡田賢一(20)は言う。「排ガスをきれいにする装置をディーゼル車につけるというアイデアはいけれど、現実の費用の問題とかは考えていない気がする」

「ゴーンのような存在」

石原人気は日本が保護主義に傾いていることの表れだと、ラフバラ大学のヘンリーは指摘する。東京の外資系銀行で働くあるアメリカ人は、石原が首相になると外国企業が日本で仕事をしにくくなるのではないかと懸念している。

「都政の改革を次々と実行する彼の手腕は素晴らしい」と、このアメリカ人は言う。「ただ、もう少し異文化や社会全体のグローバル化を意識してくれたらと思う」

グローバル化そのものが石原の人気を押し上げている面もある。「国境の希薄化や経済移民の増加

石原の主張に耳を傾ける国民が増えた背景には、小泉政権への失望がある。「小泉さんは、言うこととはでかいけど実行できない」と、21歳の男子大学生は言う。「石原さんを全面的に支持するのは怖いけど、人気があつて強権的な人でないと改革はできないと思う」

さびかなる右傾化の表れ?

世論調査で石原が首相にふさわしいと答えた有権者は、2000年10月の調査では12・6%だったが、先週の調査では小泉純一郎首相(19%)を上回る27・2%に達した。都民を対象にした4月の調査では、64%が知事選を続けてほしいと答えたが、首相をめざしてほしいと答えている人も18%いた。

多くの有権者は、小泉政権が自民党の「密室政治」を打破しきれないことに不満をつのらせている。「石原さんは裏でこそそこ動かない。彼の考えが好き嫌いかわかりませんが、はつきり言ってくれるところがいいと思う」と、プログラマーの玉井幹(32)は言う。

もともと、はつきりしたもの言いのせいで石原は何度も物議をかもしってきた。かつては

「NO」と言える日本」でアメリカを糾弾して論争を起し、都知事になってからは「三國公言」で在日外国人を蔑視していると批判された。

石原のものの言いにとくに心穏やかでないのは、アジアの国々だろう。石原は小泉首相の靖国神社参拝を支持すると明言し、自らも都知事として公式参拝した。中国のチベット政策を厳しく批判する一方、台湾を「独立国家」として認めるかのような発言をした。

「韓国や中国は日本が年々、右傾化しているとみて」と、コリア・レポートの辺真一編集長は言う。「小泉の次に石原が出てくれば、ますます右傾化すると考える」



国家とは何かなど
崇高な話をしながら
身近な問題を扱う
そんな姿勢が人々の
心をつかんでいる

はナショナリズムの下地となる」と、リッチモンド大学のジョージ・ソレンソンは言う。「石原の人氣は、文化の統一性を守ろうとする気持ちの表れかもしれない」

小泉や石原に人氣が集まるのは、無党派層が改革を自らの問題と受け止めて、他人任せにしているからだ。東京工業大学の橋爪大三郎教授は指摘する。「切羽詰まっている人は、本当はたくさんいる。だが政策やマスコミのレベルでみると、ワールドカップで大騒ぎになっている。全然、切羽詰まっていない」

日本にとって、石原は最後の頼みの綱なのか。「小泉のような変人でもだめなら、あとはもう『外国人』に頼るしかない。石原はカルロス・ゴーンのような存在だ」と、宮崎は言う。

ただし、国のリストラは石原にとっても重荷かもしれないが。

決勝かけ高まる興奮

今夜、韓国—ドイツ対決

サッカーW杯で25日夜、決勝進出をかけて韓国とドイツが激突する。国をあげての熱狂的な応援を背にする韓国。次回開催国で4度目の優勝を狙うドイツ。決戦の日を迎えたソウルに、熱い視線が注がれている。

外国人も熱狂 赤色に染まる

【ソウル25日】主司直樹】W杯決勝進出をかけた韓国—ドイツ戦を前に、25日朝、サポーターらが続々とソウル市内に集まりはじめた。赤いシャツを着た人の群れには、世界各国から来た外国人の姿も交じる。ソウルの繁華街明洞。赤いシャツを買ったトルコ人ユルマス・ボズミールさん(56)は、母国チームと韓国を応援してきた。朝鮮戦争のとき、多数のトルコ人兵士が国連軍に参加したため、親しみを感じているという。「26日はトルコとブラジルが戦うけれど、韓国も決勝に進めるよう声援を送るよ」

オランダ人ニーマ・ガダ」という。

苦戦予想する 辛口批評掲載

【ベルリン24日】古山順二】24日、ドイツの大衆紙ビルトは「韓国のサッカー戦士」と題して有力選手を紹介、「最も厳

Wの記憶

しい試合になるだろう」と苦戦を予想する記事を掲載した。ドイツにとって優勝した90年以来的の4強だが、これまでの試合ぶりに辛口の批評が目立っている。

1対0で勝った準々決勝の対米国戦。ベルリン市内に設けられたテレビ大画面の前で観戦した学生生のヤン・シーレさん(21)は「あんな守備ばかりの試合運びではだめだ」。翌日の独各紙は、



「코리아・ファイティング 決勝は横浜に行こう」と書かれた垂れ幕を持つ応援に向かう韓国のサポーター。ソウル市内で、撮影・会田法行

素直には喜べない… アジアのため頑張れ 隣国躍進に反応さまざま

歌舞伎町で聞く

米国選手のシュートが独選手の手に当たったように見えた瞬間の写真を載

せ、「あの手が救った。PKにならず幸運」(ビルト紙)と皮肉った。

い」と来日した。1枚2500円。4時間で約250枚が売れたが、客の大半は韓国人で、日本人の反応はいま一つだ。

日本対トルコ戦をテレビで観戦した横浜市の主婦(56)は、日本が負けたのを知った韓国人がソウルで喜ぶ映像を見て、ショックを受けた。「悔しい。応援する気、なくなるわよね」

W杯出場は日本が2回目なのに、韓国は6回目の「先輩」。だが、国際サッカー連盟のランキングは日本が32位と、40位の韓国を上回る。

「『格上』の欧州のチームが勝ったときのように素直に祝えない」と横須賀市の男性(27)。それでも、次々と死闘を制する韓国人のねばり強さには感心した。「日本人も学ぶべきところがあると思う」

24日夜、新宿区歌舞伎町。道端で韓国人尹美英さん(37)が「Be The Reds!」(赤になろう)と書かれた赤いシャツを売っていた。「日本人にも赤いシャツを着て応援してほしい」

買わないまでも、『韓国はよくやるな』と思う余裕がある。ナショナルリーグが数倍強い韓国が逆に敗退して、日本が残っていたら、微妙なことになっていたかも知れない。日本にとって最も好都合なシチュエーションではないか」と話す。

ASIA(アジアの誇り)の文字に感動した。東京工業大の橋爪大三郎教授(社会学)は、「日本人は赤いシャツを

2002-6-6



寺脇研・前官房審議官

文部科学省に異変



「ゆとり教育」の元祖が「左遷」の真偽

この夏、一人の官僚に異動辞令が下りた。8月1日付で文部科学省大臣官房審議官から文化庁文化部長へ転じた寺脇研氏(50)である。「ゆとり教育の旗手」として、同省きつての「顔」だった。折しも今春、ゆとり教育を具現化した新学習指導要領が導入されたばかり。「ミスター文科省」に何が合ったのか。

「正直言って、驚きました。あと1年は誰もが今のポストにとどまると思ってたからね」
そう明かすのは、ある若

手文科省官僚である。

今春から全国の小中学校で、新学習指導要領に基づく新しい教育課程が導入され、あわせて完全学校週5日制もスタートした。文科省が提唱してきた「ゆとり教育」の具現化である。

その旗手が、ほかならぬ寺脇氏だった。「ミスター文科省」「ミスター偏差値」——。これほどの異名をとった官僚はいない。マスコミをはじめ、全国の校長会やPTA集会などの場で教育改革を語ってきた寺脇氏だが、その言動は、まさに「型破り」だった。

1992年、旧文部省の職業教育課長在任中、脱偏差値教育の立場から、業者テスト廃止を打ち出した。また、広島県教育長時代の

95年、いじめによる子どもの自殺防止を訴えた記者会見で、「中学2年生の冬、ガス管をくわえたことがある」と、勉強漬けの生活から逃れるため自殺未遂をしたことを告白した。そして、「つらいかもしれないが、自分のために死ぬな」と呼びかけたくらいだ。

はた目には、名門の中高一貫校、鹿児島ラ・サールから東大法学部というエリートコースを順風満帆に歩んだように見えながら、実は寺脇氏のこうしたつらい経験が、改革の原動力になったのは間違いなさそうだ。

「自分の苦い経験体験から、教育現場の『負』の面に真正面から取り組む姿勢が、いじめや登校拒否などの問題を抱える親たちから圧倒的に支持されました」(文科省関係者)

また、寺脇氏をよく知る教育関係者は、「政策のアピールが下手だった文科省のなかで、寺脇さんの情報発信能力は図抜けていた。紛

れもなく、ミスター文科省でした」と話す。

その寺脇氏が、新学習指導要領導入からわずか4カ月で、教育政策の一線を離れることになったのだ。前出の文科省関係者が語る。

「ポスト的には横滑りですが、寺脇さんは、常に教育政策という旧文部省の本流にいた人。ラインから外された感はない」

ズバリ言えば、「左遷」だというわけだ。なぜ、そんなことになったのか。その前に、文科省が掲げる「ゆとり教育」の内容について、簡単に触れておこう。

従来の学習内容から約3割減、授業時間で2割減という新しい指導要領の狙いは、基礎学力に重点を置いて授業がわかる子を増やし、自分で考えて判断できる力

を育むことにあった。しかし、である。

ゆとり教育の反動として、PTAや専門家、国会議員らからわき起こったのが、「学力低下論」である。そうした懸念を受ける形で、今年1月、遠山敦子文科相は、家庭での学習を勧めることなどを盛り込んだ大臣アピール「学びのすすめ」を発表したくらいだ。

「学力低下が国を滅ぼす」などの編者で、京大経済研究所の西村和雄教授(理論経済学)は、こう力説する。

「ゆとり教育を」国の政策として全国の公立学校に強制するのは、特定の宗教を信じる、と言っているようなもの。政策としては失敗と思う。今後は、省内でもゆとり教育路線に批判も出てくるのではないかと

「文化庁の広告塔になります」

となると、今回の寺脇氏の人事は、文科省が早くも「ゆとり路線」を転換し始め

どうなる? 「ゆとり教育」

に与えた影響は大きかった。寺脇氏は、ゆとり教育の元祖として、その発言の影響力は大きい。省全体が学力低下論に揺れている時、あまり持論をあちこちで発言されては困るという

思惑があったのではないかと。この関係者とは別に、複数の教育関係者の間でも、「口封じのための左遷ではないか」との声も出ているくらいだ。そこで人事権者である、文科省の小野元之事務次官に、寺脇氏が異動した理由を聞いてみた。

「単なる定期異動にすぎません。(寺脇氏は)映画などにも詳しくマルチな才能の持ち主なので、文化振興でも能力を発揮してくれると思う。ゆとり教育は「ゆるみ」のないよう、今後も推進します」

小野次官は、寺脇氏の左遷説を全面否定した。もつとも、同氏の対外的な発言については、「発言内容の全部が(文科

省の)公式見解、というわけではないですから」と、口を濁した。

さて、当の「ミスター文科省」は、今回の異動をどう感じているのか。8月2日夜、寺脇氏を直撃した。

——今回の異動は?

「以前から文化行政を一度はやりたいと思っていました。文化人だけのための文化行政ではなく、国民のための文化行政をやりたい」

——なぜ今、なのか。

「抵抗もあったが、最終的に一字一句変わらず新指導要領は導入された。導入後の経過も満足しています」

——文科省の本流から外れたという見方も出ている。

「元々、本流じゃない(笑)。指導要領も学校5日制も自分が発案したわけじゃない。ただ、わかりやすく説明しただけですよ」

——対外的に発言しにくくなるのではないかと。

「そんなことはない。民間の集会では、これまでやってきたことの話だったら、

いくらでもできますよ」

——左遷という声もある。「そういう見方をする人もいるかもしれないが、自分はそうは思わない。公立学校の総合学習の授業で文化について教えるなど、教育現場にはかわるつもり。文化庁でやりたいこともいろいろ考えています。今度は、文化庁の広告塔になりますよ」

悲壮感はいくぶんもない。いたって意気軒高だ。それにしても気になるのは、「ミスター文科省」が一線を退いた後、教育改革の行方はどうなるのか。東京工業大の橋爪大三郎教授(社会学)は、こう指摘する。

「旧来の役所と学校中心の教育システムを、いかに打ち破るかが教育改革の柱。寺脇氏の異動の事情はわからないが、これで教育の規制緩和論議が尻すぼみになるなら、文科省に対する国民の信頼はますます失われかねないだろう」

本誌・山根浩一

こちら特報部

11版 特報 (24)

きりり目に流行服のmomoko

人間が直接コピー機の上に横たわって等身大ポスターを簡単に作れる特大コピー機が今秋、「東京ゲームショウ」に出品され、若い女性を中心に大人気を博した。近々、二号機も登場する予定で、等身大プリクラとして大ブームになる?

そのコピー機は、強化プラスチック製のコピー面(縦)が十五センチ、横八十一センチで、百二十センチまでの重量に耐えられる設計。焦点深度が極端に深く、立体物を鏡で映したように細部まで克明にカラー複写できる。製作費は約一千万円。九月末に千葉市の幕張メッセで開催された東京ゲームショウでは、若い女性を中心にコピー希望者が定員の三倍を上回る大行列をつくる盛況になった。

コピー機を作製した大日本スクリーン製造(本社・京都市)広報室は「これほどの焦点深度を持つコピー機は世界唯一。コピー面に

着せ替え人形といえば、まず「リカちゃん」「バービー」が思い浮かぶ。しかし、いま脚光を浴びているのが「momoko」だ。リカちゃんたちが子ども向けであるのに対し、momokoは大人の女性を夢中にさせている。一体一万円を超えるが、新作は売れ行きも好調だ。人気の秘密を探った。

着せ替え人形といえ、まず「リカちゃん」「バービー」が思い浮かぶ。しかし、いま脚光を浴びているのが「momoko」だ。リカちゃんたちが子ども向けであるのに対し、momokoは大人の女性を夢中にさせている。一体一万円を超えるが、新作は売れ行きも好調だ。人気の秘密を探った。

「リカちゃん」
10倍近い価格
価格は一体一万三千八百円と一万五千八百円。リカちゃんなどに比べ十倍近いが、店頭で手にした女性客は「写真で見ると違ってうまいわ、ファン層は着実に広がっている。インテリヤとして飾りたい」

momokoの特徴は、レディのスパッツ姿や黒色のりつとした目と流行を取り入れた品質の高いファッションだ。昨年八月に発売開始され、これまでに十種類数千体を送り出した。四回のネット販売では毎回三日ほどで完売だったという。手作りの洋服を着せボーズをきめたmomokoの写真をネットに公開し合う楽しみもあり、ファン層は着実に広がっている。インテリヤとして飾りたい

大人の人気 大人の人形



若い女性に人気の着せ替え人形・momoko

幼児性指摘の声も

「ポストベクト」のアイトディレクター真鍋奈見江さんだ。きつかけは真鍋さんが既存の着せ替え人形に抱いてユア(人形)は男性を強く

「センスのある女性」演出で満足感

「リカちゃん」は小さな女の子が遊ぶ着せ替え人形として守ってあげたくなるかわいさがあると思ってしまう。でも私が欲しかったのは、「リアルな自立した女性」。表参道などファッション雑誌などでもおなじみのスポットにいる、そんなおしゃれな生き方を感じさせる女の子を表現したかったんです」と強調する。

目じりの上がった目とやや太いまゆ毛は、その意志の強さを象徴している。真鍋さんは続ける。「等身大の自分に近いと共感したお客さまがかわいくなっている」

「リカちゃん」は小さな女の子が遊ぶ着せ替え人形として守ってあげたくなるかわいさがあると思ってしまう。でも私が欲しかったのは、「リアルな自立した女性」。表参道などファッション雑誌などでもおなじみのスポットにいる、そんなおしゃれな生き方を感じさせる女の子を表現したかったんです」と強調する。

こちら特報部

11版S 特報 (26)

等身大プリクラ、大ブームの予感?

自己愛写す、特大コピー機

人間が直接コピー機の上に横たわって等身大ポスターを簡単に作れる特大コピー機が今秋、「東京ゲームショウ」に出品され、若い女性を中心に大人気を博した。近々、二号機も登場する予定で、等身大プリクラとして大ブームになる?

そのコピー機は、強化プラスチック製のコピー面(縦)が十五センチ、横八十一センチで、百二十センチまでの重量に耐えられる設計。焦点深度が極端に深く、立体物を鏡で映したように細部まで克明にカラー複写できる。製作費は約一千万円。九月末に千葉市の幕張メッセで開催された東京ゲームショウでは、若い女性を中心にコピー希望者が定員の三倍を上回る大行列をつくる盛況になった。

コピー機を作製した大日本スクリーン製造(本社・京都市)広報室は「これほどの焦点深度を持つコピー機は世界唯一。コピー面に

密着して撮影することで、着ている服の生地目まで写る克明さで、従来の写真とは違った皮膚感覚や密着感がある」と最先端技術を解説。「ショーではコピーに個人名も入れたので、タレント気分を味わえた。コピー面に乗ることで宙に浮いたように見える斬新な映像で、普段気づかない自分を再発見できる。子どもの記念に撮っていく親子連れや業界関係者も大勢訪れた」と、大反響に満足そうな表情を見せた。

被写体になる満足感があるが、ショー直後から、同社にイベント出演やコピー機を使った広告ポスター制作など十数件の依頼があったため、二台目を製作中で、十月初旬には完成の予定。近くイベント企画会社とタイアップしたレンタルビジネスにも参入する予定という。

等身大コピーが、プリクラと同じように大ブームとな



等身大のポスターが作れる「東京ゲームショウ」で千葉市を呼んだ特大コピー機=幕張メッセ

来月にも2台目が完成
1枚1万円と高価格課題

分が被写体になる満足感。クラのように出かけた先で撮ったり、繰り返し撮影し満たされるだろうが、(商)品化された場合、一枚約一(高)価格がネック。要素がないので、広く受け入れられる面白みに欠ける」と疑問符を付ける。

さらに、「プリクラは焦点がぼやけるので、「実物」はこんなじゃない」とエクスキューズできる要素があるが、この場合はハイパリアル画像。エックス線やCTスキャン、人体解剖図に近い感覚があり、一度見れば十分なのは。それに對して、明星大学の正慶孝教授(文化社会学)は、「医療検査」のような不気味さが、逆に人氣を呼ぶ要素になるとみる。

「不景氣の影響で、本流から外れた奇妙で不気味で珍しいものを面白がるキック文化が今はやっていると。病氣じゃないのにCTスキャンなどの検査を受ける遊び感覚が受けそう」

鏡と微妙に違う等身大の自分を第三者の目で見て、新しい発見に満足するのではないかと、素朴な自己愛を満たすアイテムとしての可能性を指摘するの

第三者の目で鏡と微妙に違う等身大の自分を第三者の目で見て、新しい発見に満足するのではないかと、素朴な自己愛を満たすアイテムとしての可能性を指摘するの

かながわの基地はいま

第3次厚木騒音訴訟判決

〇〇5

「つるせえぞー」。大和市内で剣道教室を開いている原告の大鐘広志は時々、けいこの休憩中に教え子たちと外に出て、叫ばずにいられない。

道場はW値九〇地域にある。家には防音工事を施されたが、屋内に一日中いるわけにもいかず「まったく意味がない」。同居していた息子一家は「我慢できない」と一年半前に出ていった。だが自ら教え子たちを置き去りにできない。

「賠償を命じた。だが司法判断が基地の持つ「公共性」を覆したわけではない。徳島大助教授の久保田滋は一九九九年、厚木基地の周辺住民を対象にした意識調査を実施した。その結果、「被害解消へ住民が団結すべきだ」とする回答が全体の九割を超えた。しかし一方で、「自分自身が政治に影響力を及ぼすことができない」とした回答は三割に満たない。

す仕組みづくりへ、強い主張を超党派で起こしていく必要がある」と話す。原告団長の眞屋求にとつては、判決で運動は終わらない。「米軍は是非か、というだけの神学論争はしなくない。被害の現実を踏まえて、生活者として声を上げていかなければならぬ」

公共性

「公共性」を国に突き付けている事実を重視すべきだ。基地は極東の平和と安全を維持するために重要。騒音管理を違法とすればだに外交、国民生活に重大な影響を及ぼす。過去に確定した厚木騒音訴訟判決は、いすれも被害状態を「違法」と結論づけるべきだ。

「基地運動への共感と政治的な無力感が周辺住民の意識に同居している」と久保田は分析する。政治的立場を超えて三次訴訟は、安保論などに関わる飛行差し止めをめぐり原告団を組織した。メ



生活被害と防衛で衝突

「空を切る飛行機に怒りをぶつけても、安保体制を築いた政府には届かない。国を動かす力を、大鐘は自覚できないままだ。共感と無力感同居防衛と生活。国と地域が掲げる二つの「公共性」が、

「基地運動への共感と政治的な無力感が周辺住民の意識に同居している」と久保田は分析する。政治的立場を超えて三次訴訟は、安保論などに関わる飛行差し止めをめぐり原告団を組織した。メ

かながわの基地はいま

第3次厚木騒音訴訟判決

〇〇1

「テロリストの行為は米国だけでなく日本にも影響を与えた。テロの撲滅へ戦わなくてはならない」。米中樞同時テロから一年目の九月十一日。在日米海軍厚木基地での追悼式で、空母「ミティホーク」艦載機で構成する第五空母航空団司令官パトリック・ドリスコールが、けきを飛ばした。

「テロリストの行為は米中したためだ。昨年九月には、騒音への苦情件数が一カ月だけで二千四百件を突破している。基地に隣接する工場で米強大な相手に戦争を仕掛

「米軍機と自衛隊機の飛行訓練がある」と主張する。住民の悲願と相いれない基地の存在が重くのしかか

被害深刻化 隠せぬ不安

「テロリストの行為は米中したためだ。昨年九月には、騒音への苦情件数が一カ月だけで二千四百件を突破している。基地に隣接する工場で米強大な相手に戦争を仕掛

「米軍機と自衛隊機の飛行訓練がある」と主張する。住民の悲願と相いれない基地の存在が重くのしかか

「米軍機と自衛隊機の飛行訓練がある」と主張する。住民の悲願と相いれない基地の存在が重くのしかか

テロ後

「安保の意義重く」今も米国はイラク攻撃への準備を進めており、東京

「米軍機と自衛隊機の飛行訓練がある」と主張する。住民の悲願と相いれない基地の存在が重くのしかか



新時代に
NO.23
わねらの



修験真言宗大本山金剛寺派「六水院」で淨土を行う下ヨシ子さん

イタリアではローマカトリック教会が任命した公式エクソシスト(悪魔祓い師)が急増中、そして日本でも霊能ブームが過熱している。
“現代のカウンセラー”に求められるものは…

「ネンビカンノンリキ ネンビカンノンリキ…」あるとき、こんな呪文のような言葉が聞こえてきたんです——熊本県に住む霊能師、下ヨシ子さん（50才）はこのときからいまで3000人もの浄霊をしてきた。自らを「神さまの使い走り」と呼ぶ彼女のもとには、病氣、苦惱、心の闇を抱えた人々が今日も一縷の望みを託して訪れる。



8年、3月に通わす。このとき少女は三ハネ・パウロ2世（写真中央）に悪魔視を受け、正気を取り戻したという。

現在、世界中でエクソシストたちは目覚ましい活躍を行っている。



心に棲む闇の恐怖
悪霊来たりて

わが時代に

下さんの「寺」に導かれ、各地から救われる人々は増えているというが……。



いお香の香が漂い、中央にしろ
つら上られた芝居には目如來
不御明、六丁目にお霞が来、
天井からは黄金に輝く金糸が
つり垂れ下がり、きびや中
なり形を与えてい。部屋の中
央に敷かれたラケットの四隅
に置かれた灯りに照らされ、茶
居の仏像がはうつと浮きび上
てくるかのような、この自覚
を離れて下さぬ自分の存在に
つて救つたという弟分の津波と、
東坂告げて10人近くて居ると、
通いの弟子は現人ほた、
六水居て浮らす弟子の中は貧
乏、下世を施設に預けてい
る女性もいる。
姿を現した下ヨシジさんは黒
いシッケンワンド、ス、グイ
ヤの指輪ときらきら光る首を
ちびらめた腕時計を身につけて

「一見し、ゴージャスな装
囲気の彼女だが、それもそのは
ず。現在、エスタグロ、美英院
設計事務所などを経営し、ビル
を6軒所有する大企業家でもあ
る（群れてごめんなさい。いま、
輪に行つてきたの。半に放回し
かけないで、と、いつも行
くたびに当たちやうの、いよ
つぱいなら、彼女がハン
ドバックの中か取り出したの
は分厚い100万円位の束2つ。
いまも愛嬌の如くほとんど
ないんだけど、ぐつと自分の意
識を集中せんと、光景がぼつ
と浮かぶの。連年のセッケン
色と数字が瞬時にぼつと浮かぶ
笑いながらうろたふ彼女だが
なとつてきた人生は、決して明
るいものではないかな」

下さる、ま2年

[illegible]

悔けるでござい。だから、中学を卒業するまで、厚化粧をして、キヤバレーや喫茶店など、水商売を転々としてゐた。

転機は二十のときに巡つてきた。彼女は脚さふりをきかんだ。キヤバレーのは長から、スナックの経営者へ送されたのだ。このスナックが繁盛できたのは彼女。これを皮肉りに次に大衆を立ち上げ、女優芝居業をやつて成功してゐた。

しかし私生活のほうは大混乱方だした。彼女はこれまた21度結婚して、一度は3人の子のとき、相手はキヤバレーのパンドラまうく離婚する。夫は若旦那と申す男に、生は貴劇割中絶なり、下まとい長男に暴力をふるつた。

「おのとこは」そして長女をもうけたが、下まといが当時経営していたスナックのサンバーン・ホステスと駆け合ひしてしまふ。

「おのとこは」それにうつらつた一夜も眠らず、一晩も帳を離れなかつても亦九十九を詫言所にかけてるのを聞かされてたけ」と

そして、最後に出会ふのかのつかぬ夫、東京芸能團員の仕事をしていたが、下まとい和子とは下まとい清輔、次男生まれ、まほは下まとい三郎、三男生まれ、皆しい漁師で生まれ育ち、飯食ひない学費はいやといふの味のない少女と晴菜のかけのよき大人の傍側にくちこいて、成金上が

る。か、私生活では夫との関係に常に悩んで来た。しかし、彼女にはほのぼのとしたまねのきない、ある不思議な能力が備わっていた。

「初めてそれが現れたのは2才のときで、『ひとすじの光』とて、年下の男の子と遊ぶ自分の姿が見えた。ちやうど母親が出席のために実家に戻つて、それからまもなく弟が生まれたんです」

小学校には、い、家の手伝いで勉強する間もなく困つてゐたところ、ある日、習ひの算数のテストで100点をとる光景が浮かんだ。当日に受けたテストは不思議なほど簡単に解け、結果は100点。

そして不思議なことに確かに覚醒したのは、1才のときだ。彼女はそのとき、亡母の姿にかかつて高熱にうなされてゐた。

「体が冷たくなつてゐようでした。よく見るとツツの脇に、金色に光る1mほどの宇宙人みたいなものが6人、並んでゐたんです。ネンビカンノンリキという意味不明の言葉が部屋中に響いていました。しばらくすると6人は消えて、熱も下りました。以来、不思議な自分を感ぜるようになったんです」

あの6人が中に入ったのかと神様だったのかはいまでもわからないしかしその後「ネンビカンノンリキ」の音が親戚の雄の喜貞(呪文)で、「六才王上」

といふ神話から、こゝでも知つたといふのである。ある記述によると「あなただけは力を働かせるにだかから得度（僧侶）の門を叩いた。荒行は三回、計り時間（時間）を三日三回、計り時間座禅を組みにて三時を繰り返す修行の毎日。一月後には得度をし、法名「野矢」を授かる。真言の教と目録の條々方法を「神祖に教へられた」と習得し、四年には自任の中に神燈をつけた。これが六水院だ。初めての手紙は、得度をした四年、後にさんの一子弟としてなつた女性に送る手書きだつた。下さん、彼女の親部にうそをつき、手をとつていた彼女を苦しめてきた。病弱の親が過ぎたといふのだ。もとより苦役としてスタートした真宗末の僧侶は即行断髪し手かきなどされた。別の方法で行つてきた歴史がある。下さんには得度後も修行を積み、阿闍梨（僧侶）の地位（僧侶）になつたための修行の跡（僧侶）を得た。ちなみに除障は明徳のみで五万円、除障その他で三万円、阿土万、阿土万、親類するの能師もいた。高橋は「お意圖が日頃のあまりませう。なつて、お意圖を充分に控ましたからね」。

そういう下さんは死つた。

65

雲龍師・下ヨシ子さん 50
 才は、餘餘尊尊茶大木山
 剛孝(福留)で、度度上金
 法名 岸、弘、医、學、
 あらゆる文明の力をもつて
 も理解、解決、能の悩みの抱え
 る現代人を「導き」という手段
 で救ひ続ける。彼女がいま
 までに救った人たちは、実に3
 000人にも上るといふ。
 彼女の名前、二躍有したた
 のが、岐阜県守加町の念願地
 で起きたボルターカイスト現象
 だとう。この佳人ならは不
 滅的な怪奇現象に怯え、体の不
 調を訴える者が続出して、た
 彼女が佳人のふとりである主婦
 に向かつて爲を唱え始めると
 主婦の体を通してふたりのボル
 タルカイス教師の雲が出てくる
 という。彼女はその雲の頼みに
 聞き、はずし成仏させらるこ
 の家の怪奇現象はヒナリと止ま

3度の結婚

正装した下さんとおの並みたち。下人は「一帯の数をこなすに、被やうしといふ」つたといふのだ。彼女と陰謀の種子はテレビ番組で全国に放映され、大きな反響を呼んだ。

彼女はここ、ポルトガル人の赤だけでない、戦艦に試み切りをされて幾度も月夜遊歩と無実の罪で処刑された人々の血を呼び出して憤激し、成仏させたのだ。

また、ポルトガル人の赤の話を手信半疑に聞いていた住宅の自治会長にお蔵いを一守衛者としてを入れた儀式を、後にこの会長の「下さんといふ」つてきたといふ。

「実はあのとき、鴨にがんかできていて腹痛があったんだが、お蔵いを受けるじいさんに痛みが消え、お蔵いの形もなくなつた。先生の功がなす」

こうして、この町地の怪奇現象はうそのように取り、住民たちが抱えていたさまざまな病気が治つてしまふたという。

冒頭で紹介して見せたシーンのあるテレビ番組の結果、住人の女性Aさんにとりこいた未成

仏書は小さい女のすう人とその母親の恋だとわかった。自説の後、同じような運命で娘と洋らす似た境遇のAさん親子を見つけ、分たんの恨みをAさんに口々訴えていたのだ。

そして最後に下を指摘する。そのように未成熟な愛を引き寄せたのは、Aが自身が抱く恨み、妬み、嫉み、うらたて、テレビ番組で取り上げられること、口角、新聞、雑誌で紹介されること、等。今年にはいつて著書も2冊出版した彼女のもとには、「浄土」や「癒し」を求める人たちが毎日10人以上訪れている。そんな下さんとは、どんな人物なのか？ 本誌は下さんを訪ね、熊本へ飛んだ。

6月に韓国ワールドカップに
共催した日本、日韓の距離を近づ
けた大きなイベントの3カ月後
に、朝鮮半島のひとつの国家と
朝鮮民族がある。今年にはま
さに、外交の一年だった。

在日の作家斎藤孝氏は、明らか
にされた拉致事件の衝撃を、「私
は眼のまへの透明な窓の奥に彼
を起して揺れるのを、足元の
全体が揺れるような衝撃を受け
た」(世界10月号)歴史はまじ
るか」と、表現した。

人々躍る拉致の衝撃
小泉首相の朝鮮民主主義人民共
和国北朝鮮訪問、13人拉致・8
人死(朝野)という、17の衝撃を
論議は止む止めたところか。
まず、国際政治の局面に、生身
の人間の顔がまじりこんで現れた。
横田喜久郎さんか、心を揺るが
れた在日間の心は「朝野」に
巡りわたった。そして、「小さな世
界と大きな世界の両方を見られる
ようになった」と、朝野(朝日
新聞10月23日付朝刊)、品性に満
ちたその言葉の重さを胸をたれ
る思いがする。

衝撃のあとに最初に来た問いは、
「今後、北朝鮮とどうつきあうべ
きか」だった。拉致疑惑の解明に力を
入れてきた「正論」や「朝野」は、
断固たる強硬姿勢を主張する。
北岡伸一氏の「戦後日本外交史

大学で社会学を学ぼうとする高
校生が、もし会場にいたら、2人
の社会学者のどちらの言葉に魅了
されたらどうか、どちらの意見に
説得されたらどうか。

「どんな社会になればテロリス
ムをなくせるのか。そういう世界
をどう構想するかが大事だ。それ
が社会学の課題」という見田宗介
・共立女子大教授。

「21世紀はテロの時代。完全に
なくせると思わず、減らせると考
えた方がいい。その都度、適切に
現実的な策を打つべきだ」とい
う橋爪大三郎・東京工大教授。

東京・白金の明治学院大で2日
開かれたシンポジウムでの発言
だ。参加者は2人のほか、宮台真
司・東京都立大助教授という、ほ
ぼ11歳ずつ年齢の離れた3世代の
社会学者に、哲学者の竹田青嗣・
明治学院大教授。司会がシンポの
企画者でもある文芸評論家の加藤
典洋・明学大教授だった。

演題がひねられている。「9・
11以後の国家と社会」。9・11テ
ロは国家単位では解決できない問

「9・11以後の国家と社会」シンポ

テロ「なくす」か「減らす」か

その観点から、加藤氏は96年の
見田氏の著書『現代社会の理論』
を高く評価する。南北問題や人口
問題といった地球の「暗黒面」へ
の切実な関心と、自由の魅惑、消
費の楽しさといった「光明面」の
双方を手放さずに、地球規模の問
題の解決をめざすという考えが展
開されている。シンポ参加を一度
は見田氏に断られ、「見田さんな
しでは元気がなくなる」というほ
どだった。

その見田氏は、基調発言で、9
・11テロで思い起こしたという二
つの書物(D・H・ロレンス『ア
ボカリス』と吉本隆明の『マチ
ウ書』)を言及しつつ、「社会
的な関係の客観性(例えば圧倒的
な権力の差、貧富の差)が生み出
す根強い敵対感が2千年前から世
界が解決できていない問題の核心
であること、関係の絶対性」と
いうキーワードで語った。

見田氏の問題設定が「文学的」
に聞こえるのは対照的に、橋爪
・宮台両氏は、徹底的にプラグマ
ティックに論じた。

「相手から必要な反応を引き出
す」のが「表現」。宮台氏は「表
出による満足」ではなく「表現に
よる満足」が「愛国」である
と主張している。

その言葉を借りれば、外交が
「表現」として成立する条件の一
つが、アカデミズムや論壇も含め
た知的セクターの健全さだろう。
そこから政策決定機関へ流れる
「血脈」が新鮮でないと、だんだ
ん心臓の動きが悪くなる。

70年代生まれの3人の論者がそ
の意味で光っていた。細谷雄一氏
の「トニー・ブレアの『新世界秩
序構想』とイキ
リスの『新しい
役割』(外交
フォーラム8月
号)と、池内恵
氏の「拒絶と
反駁の中に埋も
れる自己批判」
(論壇9月号)。
細谷氏は、好
戦的なプッシュ
だ。



3世代の社会学者らが議論を繰り
広げた東京の明治学院大で

橋爪氏は「見田さんは南北の
『圧倒的な不平等』を『収奪』と
か『抑圧』と言うが、現在の人口
65億が飢えずに生存していくた
めには、先端的な工業力が必要だ」
という。「先進国つまりアメリカ
が存在しなければ第三世界は存在
できず、これは『収奪』と言う前
に、相互依存の1つのシステム。
だからアメリカに適切に行動して
もらうしかない」

宮台氏は「素朴な反米主義はア
メリカに何の影響も行使できな
い。アメリカに磨き込まれたため
には、現実のスキルにあふれた政
治的対応が必要」という。

一方はテロを生み出す絶望の土
壌を消す世界を構想し、一方はテ
ロに対して長期的な視野で最善の
具体的対応策を取ることを語る。
もちろん、前者は「反米」思想と
は位相が違ふし、後者は「親米」
とはまるで違う質の考えだ。

コインの裏表ではないかと思
いつつ、前者の言葉に魅了され、後
者の意見に説得された——これが
正直な感想だった。(中島鉄郎)

詳細は「論壇」1月号(12月5
日発売)に掲載の予定。

文化

私の3点 選者50音順

斎藤 美奈子 文芸評論家

▽宇城輝人「田中康夫試論」(現代思想
5月号)

▽堀茂樹「フランスのフェミニズムと文
化的伝統」(大航海4月号)

▽野田正彰「『心の教育』が学校を押し
潰す」(世界10月号)

中島 秀人 東工大教授

▽東浩紀「情報自由論」(中央公論7月
号より連載中)

▽マイケル・ハーシュ「ジョージ・W・
ブッシュの世界像」(論壇10月号)

▽赤木昭夫「エンロン事件 ひとつの時
代の自壊」(世界12月号)

橋爪 大三郎 東工大教授

▽東浩紀「情報自由論」(中央公論7月
号より連載中)

▽中西輝政「国家としての日本を考える」
(Voice 7月号より連載中)

▽岡崎久彦・北岡伸一・坂本多加雄「近
現代史から見る21世紀『日本丸』の航
海図」(諸君! 7月号)

藤原 帰一 東大教授

▽キャロル・グラック「九月一日」
(現代思想7月号)

▽斎藤貴男「空疎な小皇帝」(世界7~
03年1月号)

▽マイケル・ハーシュ「ジョージ・W・
ブッシュの世界像」(論壇10月号)

間宮 陽介 京大教授

▽小沢弘明「『構造改革』と大学——そ
の戦略と矛盾」(世界12月号)

▽筑紫哲也「『連子窓』の弟子として」
(丸山真男手帳23号)

▽ジョン・ダン「日本のたどる政治的麻
痺への道」(思想6月号)

回顧 2002 論壇

成田龍一氏

重なりあった二つの戦後

「加害者・被害者」関係の逆転
で、続いてやってくる問いは、歴
史的記憶。拉致問題の文脈で、戦
争中の「朝鮮人強制連行」に言及
するのは「相殺論」だ、いやそう
ではないという議論が始まった。
成田龍一氏は「人間の想像力と
歴史の記憶」(世界10月号)で、
拉致と強制連行という二つの
国家犯罪について、第2次世界大
戦の終結から57年、冷戦の終結
から13年、二つの戦後の問題が

強硬、冷静が交錯「北朝鮮」
善悪二分の違和感「イラク」

宮台真司氏

細谷雄一氏

池内恵氏

「表現」として成立する条件の一
つが、アカデミズムや論壇も含め
た知的セクターの健全さだろう。
そこから政策決定機関へ流れる
「血脈」が新鮮でないと、だんだ
ん心臓の動きが悪くなる。

70年代生まれの3人の論者がそ
の意味で光っていた。細谷雄一氏
の「トニー・ブレアの『新世界秩
序構想』とイキ
リスの『新しい
役割』(外交
フォーラム8月
号)と、池内恵
氏の「拒絶と
反駁の中に埋も
れる自己批判」
(論壇9月号)。
細谷氏は、好
戦的なプッシュ
だ。

一方、池内氏は、近年のアラブ
世界では排外的な国際社会認識が
広まり、不正と陰謀にあふれた国
際政治の「犠牲者」として自分た
ちを位置づける思考法が定着し
たと論じる。9・11以後は「アメ
リカ、イスラエルが糸を引く」と
いった陰謀論がさらに流布しやす
い状況が強まっているという。

イラク攻撃が現実味を帯び、世
界が善と悪に二分されつつある中
で、その二分論を克服する可能性
を、3人の論者は示してくれた。

プッシュは学校の番長か
だが、現実を目を向けると
——マイケル・ハーシュ氏は
「ジョージ・W・ブッシュの世界
像」(論壇10月号)で、プッシュ
政権を、「眼障」を片手に「妥協
を許さない」と大言で手回してい
る「学校の番長」にたとえている。

そう、今や「番長」は絶対的権
力をもつ。だが、絶望感に漂う前
に、少しでも現実的によい方向へ
進むよう、「敵友」はあらゆる知
恵を絞って「番長」に働きかけて
いくしかないのではないのか。そこ
に「外交」の希望をつなぎたい。

そう言うとはから遠方にくれそ
うになるのだが、ともかく、経済
再生など山積する内政課題をさし
おいて、来年も世界は大きく揺れ
動き、対外関係がさらに重要にな
りそうだ。(中島鉄郎)

3世代の社会学者らが議論を繰り
広げた東京の明治学院大で

サントリー「山崎」コメント

サントリー株式会社 2002.12.19

産経新聞 12月 19日 木曜日・全国朝刊
日経新聞 12月 20日 金曜日・全国朝刊
朝日新聞 12月 21日 土曜日・全国夕刊
毎日新聞 12月 21日 土曜日・全国夕刊
読売新聞 12月 21日 土曜日・全国夕刊



父が好きだった。祖父も飲んでいたサントリー。琥珀色の液体は、大人の知恵をたたえているようにみえた。「山崎」。私もそろそろ、という歳になってきた。

橋爪 大三郎
—東京工業大学教授—

日本のウイスキーのふるさと山崎から

サントリー
ピュアモルト
ウイスキー

山崎

おまけ 京都新聞

2002年(平成14年)12月6日 金曜日

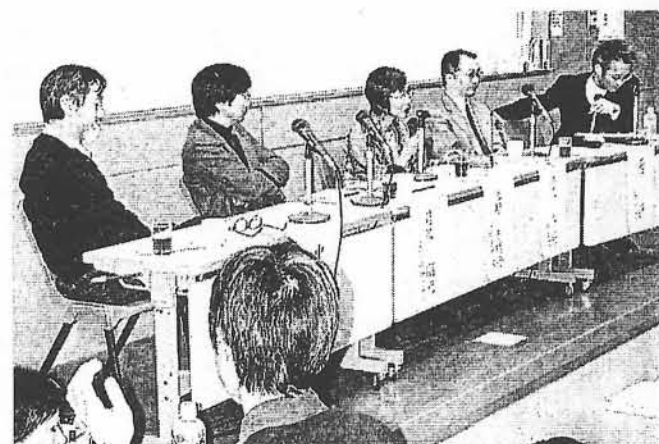
大学教育の使命はどうあるべきかを問うシンポジウムがこのほど、京都市左京区の京都精華大学で開かれた。大学がよい企業に就職するパスポートという神話が見直されつつある現在、今後の大学教育のあり方などについて、論壇の第一線で活躍する学者らがパネラーとなり、積極的に意見を戦わせた。

大学の進学率が五割に達し、少子化の影響で定員割れする大学も三割に達するといわれる。シンポジウムは、大学をめぐる状況が様変わりする中で、これまでの偏重中心の序列システムを見直し、大学本来の使命を考えようとの趣旨で開かれた。

最初に、東京工業大学の橋爪大三郎教授(社会学)が、「日本の大学の現状は入学試験、教育の

大学教育の使命とは

—京都精華大でシンポ—



大学教育の使命をテーマに活発な意見が交されたシンポ
(京都市左京区・京都精華大学)

学者ら白熱の討論

を区別し、個人が学ぶ動機を重視。「大学教員は消費財としての教育を提議できるだけの芸をもつべき」と主張した。

少子化の影響でいまの大学生の半数が実質的に学費選抜を受けていないことを指摘したのは刈谷剛彦東京大学教授(教育学)。「受験教育システムが機能不全に陥っており、大学では学ぶ意味をリセットできる教育が必要」と指摘した。

中尾ハジメ京都精華大学学長は、経済至上主義の世の中から距離を置いた

授は「大学は公教育ではないので、学生が自己責任で学費を払って学ぶのが原則。日本の各大学は『何のために存在するか』という使命を社会に宣言するのが先決だ」と反論した。

一方、大学の教育内容について上野教授は「大学の教育で、社会に出てから役に立つことはほとんどないが、問いを立てる(こと)こそ人間の自立にとって大切な能力」と発言。これに対して刈谷教授は「いまの大学には教員が向上させるシステムが必要。学生が問題意識を持つことを教員が助ける教育をつくらなければ」と語った。

「助成金や研究費で恵ま(文化報道部 岩本敏朗)

中身、研究レベルともダメ」と厳しく指摘。「大学は定員をなくすかわりに教育に力を入れて個性化をはかり、研究は特定の子東京大学教授(社会学)は、英会話学校のように学んだ技術がそのまま役立つ」と、効率化の視点をから大学の制度改革を訴えた。

これに対し、上野千鶴子(教育学)は、英会話学校のように学んだ技術がそのまま役立つ」と、効率化の視点をから大学の制度改革を訴えた。

「大学が『批判の場として残らなければならない』と強調した。